

事業報告書

自 令和 3年4月 1日
至 令和 4年3月31日

公益財団法人 出羽庄内国際交流財団
鶴岡市伊勢原町8-32

令和3年度 事業報告

令和3年度事業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大の状況を注視しながら、事業計画に基づき、国際交流促進事業、国際理解促進事業、多文化共生促進事業、国際村施設管理運営事業の4つを主要な事業として、実施いたしました。オンラインでの事業を効果的に開催し、感染防止対策を徹底するなどし、地域住民や国際交流団体、ボランティアの方々の参加と協力を得ながら、各種事業に取り組みました。

令和3年度に実施した主な事業は次のとおりです。

1. 国際交流促進事業

地域住民が国際交流を身近に体験する機会として、関係団体、ボランティアとの連携を図りながら、世界各国の文化・芸能・料理・音楽等を紹介する各種の催しを実施した。

(1) 交流イベント開催・支援事業

①第26回出羽庄内国際村ワールドバザールの開催（実行委員会）

- 期 日 6月12日（土）、13日（日）
- 参加者等 約1,100名（定員を設けた開催）
- 会 場 国際村全館、中庭等
- 内 容
 - ・12日 地元演奏家や留学生によるステージ発表（15団体）
 - ・13日 世界の民族料理の模擬店（7か国9グループ）
 - ・両日 フリーマーケット、関係団体のパネル展示
国際村登録団体・ボランティアによるバザー、企画イベント、ボッチャの体験会 等

②出羽庄内国際村音楽祭（実行委員会）

「韓国伝統音楽の夕べ ～風流を楽しむ～」

- 期 日 11月14日（日）
- 来場者等 144名
- 会 場 国際村ホール
- 内 容 韓国伝統音楽の演奏家、舞踊家、計9名による演奏会

③新年を祝う会

※企画立案し参加者募集を行ったが、実施直前に新型コロナウイルス感染が拡大し、中止とした。

(2) 交流事業の開催支援／実施

①コロラド州青年訪問団 受け入れ事業

※新型コロナウイルス感染拡大により、日本への入国や国内移動が困難であるため中止。

(3) 国際姉妹・友好都市等との交流促進

①鶴岡・ニューブランズウィック友好協会

第15回自治体国際交流表彰（総務大臣賞）受賞。

ニューブランズウィック姉妹都市委員会主催のバーチャル写真展への参加や、赤川花火大会でケイヒル市長のビデオメッセージを配信するなど、コロナ禍の中でも実施可能な交流活動を実施した。

2. 国際理解促進事業

(1) 語学講座の開講

学習者のレベルにあわせた英語、中国語、韓国語の講座を開講。また、短期講座として入門向けのフランス語講座を開講。

対象言語を母語とする外国出身者が講師を担当することにより、言語の習得と共にその国や地域に対する理解を深めた。

英語、中国語、韓国語、スペイン語、フランス語では、時々話題を自由に話せるフリートーク型講座を開催した。

①外国語講座

○英 語	15名
○中 国 語	24名
○韓 国 語	61名
合 計：	100名

②フリートーク型講座

○英 語	毎週木・土曜日(4月～7月)・日曜日(8月～)
○中 国 語	毎週木・土曜日
○韓 国 語	土曜日(不定期)
○スペイン語	毎週土曜日
○フランス語	毎週木曜日
○参加者数	延べ 729名

③短期外国語講座

- フランス語 前期5月～7月、後期9月～11月 計20回開催
参加者 前期7名、後期5名 計12名

④中国語 特別講座

- 期 日 12月5日(日)
- 指導者 4名
- 参加者 7名
- 会場 研修室、小研修室
- 内容 「说一说，減減圧 ～中国語でリフレッシュ～」というテーマで、4つの場面を設定し、実践的な中国語会話の講座を実施した。

⑤英語 特別講座

- 期 日 2月27日(日)
- 指導者 5名(出身国：カナダ、イギリス、フィリピン、ケニア)
- 参加者 16名
- 会場 国際村ホール
- 内容 「English World Tour at Kokusaimura ～英語を使って、世界の人とつながろう！～」というテーマで、4つの場面を設定し、ネイティブスピーカーと一緒に実践的な会話講座を実施した。

(2) 国際理解講座等の開催

子どもから大人まで、それぞれの興味に応じて参加できるよう、料理や体験講座など国際理解のためのカリキュラムを作成し実施した。また、令和3年度の新事業としてオンラインを使った世界ツアーを実施した。

①せかいの台所：料理講座

日本在住の外国出身者を講師に迎え、料理を通して交流し、その地域の言語や文化などの理解を深めた。(年6回開催)

- 指導者出身国(地域)
インドネシア、フランス、カナダ、カンボジア、スリランカ、タイ
- 参加者 延べ115名
- 会場 調理実習室、和習室

②ワールドコミュニケーションクラブ

- 指導者 カリッサ・トラバース氏(鶴岡市内高校ALT)

- ダニエル・ポドボロチンスキー氏（鶴岡市内高校ALT）
 クレア・ミラー氏（鶴岡市内小中学校ALT）
- 参加者等 中学生～高専生 延べ115名
 - 会場 研修室、和習室ほか
 - 内容 月に1回実施し、英語を使った短冊作りやゲーム、プレゼンテーション作りなどに取り組み、また指導者の母国であるカナダの文化体験をするなど、英語を実践的に学んだ。

③太極拳体験講座（入門コース、スキルアップコース）

- 期 日 4月7日（水）～3月30日（水）
前期21回、後期24回
- ※コロナ感染拡大防止対策により貸館業務停止のため、3回休講。
- 指導者 覃 莉莉 氏（上海出身／酒田在住）
- 参加者 入門コース 14名（うち賛助会員3名）
スキルアップコース 9名（うち賛助会員8名）
- 会場 和習室
- 内容 中国武術の一門派である伝統太極拳の体験・習得

④旅する国際村オンラインツアー

新型コロナウイルスの影響で、国をまたいだ往来を伴う事業が中止となっている為、これまで国際村と交流してきた外国出身者や海外在住の方々に、オンラインで現地の街の様子や人々の生活についてお話しいただいた。令和3年度は計7回実施。

- 第1回 【韓国・釜山編】
4月25日（日）15：00～16：00 参加：41名
ゲスト：キム・ハンビン氏（国際村スタッフの家族）
- 第2回 【アメリカ・コロラド編】
5月15日（土）11：00～12：00 参加：26名
ゲスト：村治 孝浩氏（コロラドスタディーツアー アメリカ側
プログラム・コーディネーター）
- 第3回 【オーストラリア・ブリスベン編】
7月11日（日）11：00～12：00 参加：27名
ゲスト：伊木和津佳氏（国際村元スタッフ）
- 第4回 【インド・ムンバイ編】
9月19日（日）15：00～16：00 参加：28名
ゲスト：アヌシュカ・クルカルニ氏（元鶴岡在住者
アビジット・ムレイ氏の従妹）

- 第5回 【ペルー・リマ編】
10月24日（日）11：00～12：00 参加：22名
ゲスト：モイセス・オルテガ氏
(元山形大学農学部留学生 2019年2月まで鶴岡在住)
- 第6回 【モンゴル・ウランバートル編】
11月13日（土）11：00～12：00 参加：19名
ゲスト：ダグア・シンウダルガ氏
(慶応義塾大学先端生命科学研究所留学生)
ダグア・シンバヤル氏（シンウダルガさんの姉）
ダグア・シンビレグ氏（シンウダルガさんの姉）
- 第7回 【台湾・台北編】 1月16日（日）11：00～12：00 参加：20名
ゲスト：木所 佐江子氏（鶴岡市内小学校教諭の元同僚、
台北日本人学校教諭）

(3) コロラド訪問団派遣

①コロラドスタディツアー 異文化理解プログラム

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

②コロラドスタディツアー 英語短期集中プログラム

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(4) その他国際理解・支援事業

①ウクライナ危機を考える 動画試写会・募金周知

ロシア・ウクライナ情勢を鑑み、国際村を会場に、現在の情勢の理解に資する動画配信を視聴する会を開催するとともに、募金活動を行った。

○事業名 ウクライナ危機を考える

○期 日 3月13日（日）

○会 場 国際村ホール

○参加者 約30名

○内 容 非暴力平和隊・日本（NGO）が配信した動画番組を視聴し、現在ロシア・ウクライナで起きている紛争について理解を深めた。同時に募金活動も開始。

○募金活動 3月13日から3月30日まで、募金箱を設置し、日本赤十字社と国連 UNHCR 協会へ送金した。

・日本赤十字社 47,271円

・国連 UNHCR 協会 98,000円

3. 多文化共生促進事業

在住の外国出身者が地域で安心して暮らせるよう、日本語指導、日本文化の体験、生活相談業務、情報の収集提供など各種事業を実施した。

(1) 日本語教室運営支援事業

毎週日・水・土曜日に開催している国際村日本語教室の運営の支援を行った。

①日本語教室

- 開催日 毎週日・水・土曜日及び学習者のニーズに応じて実施
- 体制 日本語指導者ボランティア 61名
- 学習者 73名（25ヶ国・地域）
アメリカ、イギリス、インドネシア、ウガンダ、エジプト、オランダ、ガイアナ、カナダ、韓国、カンボジア、ギニア、ケニア、シリア、スリランカ、中国、ネパール、パキスタン、フィリピン、フランス、ブルキナファソ、ベトナム、ベナン、ボリビア、モンゴル、ルワンダ
- 会場 出羽庄内国際村、にこ・ふる、アートフォーラム（冬季）
※コロナ感染拡大防止や交通事情等により、オンラインで授業を行うグループも複数ある。

②第10回日本語スピーチコンテスト in 庄内

（主催：実行委員会、事務局：三川町）

庄内地域の国際交流関係機関・団体、日本語教室等と連携し、庄内在住の外国出身者による日本語スピーチコンテストを実施した。

- 期日 11月7日（日）
- 参加者等 発表者：5名（鶴岡市2名）
来場者：約30名
Zoom視聴者：約30名
- 会場 三川町いろり火の里 なの花ホール

③日本料理講座：器の会

ボランティアによる外国人向けの日本の家庭料理講習会を開催した。

- 期日 第1回目 6月6日（日）
筍入りちらし寿司、いちご大福等
- 第2回目 11月27日（土）
秋の炊き込みご飯、具たくさんのきんぴらごぼう等

○参加者等 延べ13名

④ぶどう狩り&芋煮会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑤日本語指導ボランティア 養成講座（山形県国際交流協会 共催）

自分が住んでいる近くで日本語を学びたいという外国人住民のニーズに対応するため、日本語を教えるボランティアの養成講座を行った。

○期 日 7月17日（土）～

9月25日（土）全8回

○講 師 武藤 文氏（国際村日本語ボランティア）

工藤 智美氏（国際村日本語ボランティア）

佐藤 幸（（公財）出羽庄内国際交流財団事務局次長）

○協 力 者 9名

○場 所 国際村ホール、

鶴岡市、酒田市、庄内町、遊佐町の各日本語教室（見学）

○参 加 者 34名

○内 容 庄内地域において日本語支援ボランティアの活動に関心・興味のある方を対象にした研修会。日本語指導の基礎と実践、庄内地域日本語教室での見学。

⑥オンラインによる日本語学習支援入門 鶴岡会場

（山形県国際交流協会 共催）

コロナの影響でオンラインを使った日本語学習支援のニーズが高まってきたため、ZOOMで日本語を教える研修会を行った。

○期 日 10月16日（土）

○講 師 今泉 智子氏（山形大学学士課程基盤教育機構）

○場 所 国際村ホール

○参 加 者 11名

○内 容 ZOOM授業の基本的な流れと機能の使い方

(2) 生活相談業務実施事業

生活相談業務担当者として国際交流専門員を配置し、必要に応じ行政、他の機関とも連携し、相談に対応した。

① 生活相談窓口の設置

在住外国人及びその家族、外国人関連企業等の相談業務を実施した。

在住外国人及びその家族、市役所や外国人関連企業等の相談業務を実施した。

○生活相談等 116件

○内 容 教育・子育て：23件 医療・福祉：19件
生活環境：4件 お金に関する問題：1件
労働関係：11件 家族・家庭：1件
年金・税金：1件 交通事情：1件
その他（在留資格等）：55件

○特記内容 5小への総合学習支援 外国出身者8名紹介

②通訳・翻訳の対応

○依頼件数 63件（通訳36件、翻訳27件）

○依頼主 個人42件、公的機関16件、企業5件

○言語 英語、中国語、韓国語、ベトナム語、タイ語、タガログ語、ネパール語、インドネシア語

○内 容 医療関係：20件 生活全般：24件
教育関係：6件 観光関係：2件
その他：11件

○対 応 国際村スタッフ：40件 通訳ボランティア：9件
その他：4件

○特記内容 翻訳：鶴岡市ゴミポスターのベトナム語版作成
鶴岡駅前の多言語看板（英語、韓国語、中国語（簡体字、繁体字））作成

③コミュニティ通訳者自主勉強会

外国出身者も参加して医療や教育、観光など通訳シミュレーションを行いながら専門用語や適切な表現などを習った。

中国語、英語、韓国語の3グループで、それぞれ毎月1回の勉強会を行った。

○期 日 各言語 毎月1回土曜日か日曜日開催

○中国語 12回開催 参加者：76名

○英語 11回開催 参加者：60名

○韓国語 10回開催 参加者：56名

○会 場 研修室、小研修室、応接会議室

④ コミュニティ通訳全体研修会

コミュニティ通訳の専門家に講師を依頼し、国際村のコミュニティ通訳登録者を対象に、通訳の基礎から実践について学んだ。コロナウイルス感染拡大防止のため、Zoomを使ってオンラインで実施（2回講座）。

○講 師 内藤 稔氏

（東京外国語大学大学院総合国際学研究院准教授）

○第1回 コミュニティ通訳の社会的役割、倫理、通訳の基本

参加者 コミュニティ通訳登録者11名、一般4名 計15名

○第2回 コミュニティ通訳の実践、演習

参加者 コミュニティ通訳登録者8名、一般4名 計12名

⑤ 生活ガイドブック・情報マップの配布

地域在住の外国出身者向けに、生活に必要な基本情報を記載した多言語版生活ガイドブックとマップ、国際村紹介パンフレット（5言語記載）『ようこそ出羽庄内国際村へ』を国際村窓口及び関係機関に配布した。

⑥ やさしい日本語研修会 ～ZOOMでのオンライン講座～

地域の外国人の多くは、簡単な日本語を使って日常生活を送っているため、「やさしい日本語」は、コミュニケーションを円滑にする助けとなる。また日常生活だけでなく、災害時など、緊急の場合も役に立つことから、オンラインでの「やさしい日本語講座」を行った。

○期 日 第1回：11月27日（土）

第2回：2月19日（土）全2回

○講 師 （公財）出羽庄内国際交流財団 スタッフ3名

○場 所 オンラインでの開催

○参 加 者 第1回目 7名

第2回目 8名

○内 容 <第1回> 鶴岡の在住外国出身者の現状、やさしい日本語の基本、やさしい日本語の話し方の実践演習1

<第2回> 1回目前半の内容の復習、後半はやさしい日本語の話し方・書き方の実践・演習2

(3) 情報収集提供事業

国際化に対応するための情報の収集・提供するためのシステムづくりを進めるとともに、ホームページの充実を図った。また会報を発行した。

①インターネットによる情報提供

ホームページやフェイスブック等で講座やイベントの告知、報告など、最新情報を提供した。

②会報の発行及びイベント情報などの提供

「国際村だより」を発行し、会員に国際村のイベント情報などを提供した。

③インターネットコーナーの設置

無料で使えるパソコン・インターネットコーナーを設置し、来館者、在住外国人の利便に供した。

4. 国際村施設管理運営事業

鶴岡市より、平成26年度から、国際村の指定管理者に選定され、引き続き施設の使用許可に関する業務を受託するとともに、これまで市が直接行ってきた施設設備の維持管理業務についても受託し、利用者の利便性、サービスの向上が図られるよう努めた。

5. その他

(1) 賛助会員

○令和3年度実績

- ・個人会員 223名
- ・法人会員 15口

(2) 本財団評議員会・理事会の開催状況

①評議員会

定時評議員会（令和3年6月24日）

- | | |
|-------|---------------|
| 報 告 | 令和2年度事業報告について |
| 第1号議案 | 令和2年度収支決算について |
| 第2号議案 | 評議員の選任について |
| 第3号議案 | 理事の選任について |
| 第4号議案 | 監事の選任について |

② 理事会

令和3年度

第2回理事会（令和3年6月24日 みなし決議）

- 第1号議案 理事長の選定について
- 第2号議案 常務理事の選定について
- 第3号議案 常務理事への事務局長職の委嘱について

第3回理事会（令和4年3月25日）

- 第1号議案 令和4年度事業計画について
- 第2号議案 令和4年度収支予算について
- 第3号議案 公益財団法人出羽庄内国際交流財団職員給与規程の一部改正について

令和4年度

第1回理事会（令和4年5月19日）

- 報 告 令和3年度事業報告について
- 第1号議案 令和3年度収支決算について
- 第2号議案 評議員の候補者について
- 第3号議案 令和4年度定時評議員会の開催について

③ 監事監査

令和3年度事業報告及び収支決算に関する監査（令和4年5月13日）